

《令和2年度 農業委員会事務局 組織目標の達成状況》

重 令和2年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者
 事務局長 田中 好紀

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>1 農業収入では安定的な生活が見込めないという不安や、後継者がいない高齢の農業者の増加が、農地の売却(宅地等への転用)や、不耕作農地や耕作放棄地の増加に繋がっています。 また、担い手が主体性を発揮し創意工夫することで経営発展できるよう、農地の集積・集約化を促進する必要があります。</p>	<p>① 『人・農地プラン』を基に、関係機関(市農林水産課、JA、県農産普及課)や集落・地域との連携を図り、農地等の利用の最適化の推進に関する指針に掲げる『遊休農地の解消』『担い手への農地利用集積』『新規参入の促進』にかかる課題の解決・解消に努めます。</p>	<p>【取組】 農業委員、最適化推進委員、関係機関で構成する農地利用最適化推進ブロック会議を設置し、『人・農地プラン』において各地区で出された課題解決に向け、農地利用集積に向けた取り組みを進めます。</p> <p>① 【成果目標】 農地利用集積・集約化を推進します。 農地利用集積面積 R1 613ha ➡ R2 741ha +128ha 集積率 R1 49.9% ➡ R2 60.2% +10.3%ポイント (80% [令和6年3月目標値])</p> <p>【取組】 農業委員、最適化推進委員、関係機関が連携を図り、農地/パトロールを実施します。</p> <p>② 【成果目標】 無断転用行為、耕作放棄地の発生防止、解消を推進します。 遊休農用地面積 R1 5.0ha ➡ R2 2.7ha ▲2.3ha 遊休農用地割合 R1 0.41% ➡ R2 0.21% ▲0.2%ポイント (0 ha [令和6年3月目標値])</p>	<p>① 【取組実績】 人・農地プランの実質化にかかる話し合いや水管等更新事業実施委員会に参加し、各地区の課題の再確認や課題解決に向けた取り組みについて話し合いました。 また、草津市人・農地プラン確認会議や草津市農業振興計画審議会に出席し、市域全体の課題解決について話し合いました。 農地利用集積面積は着実に増加しているものの、コロナ禍の影響もあり、面積、集積率ともに目標に達することはできませんでした。</p> <p>② 【取組実績】 最適化推進委員が主となり、農業委員、関係機関とともに農地パトロールを実施しました。 耕作放棄地の所有者に対しては、農地の適正な管理を指導するとともに、農地の貸付や作業委託について助言や支援を行いました。 農業委員や地元生産組合の有志による耕作放棄地の草刈り等により、農地に復旧された例はあるものの、面積、割合ともに目標に達することはできませんでした。</p> <p>【成果目標実績】 農地利用集積面積 R1 613ha ➡ R2 667ha +54ha 集積率 R1 49.9% ➡ R2 54.8% +4.9%ポイント</p> <p>【成果目標実績】 遊休農用地面積 R1 5.0ha ➡ R2 4.2ha ▲0.8ha 遊休農用地割合 R1 0.41% ➡ R2 0.35% ▲0.06%ポイント</p>